



全校代表委員会

本日26日(金)に代表委員会が行われました。代表委員会は、4年生以上の学級の代表、各委員会の代表、企画委員会によって組織します。また、必要に応じて各クラブの代表やたてわり班の代表等の参加も考えられます。実は、今日の代表委員会は、場所を体育館に移して、話し合う会場を設定し、代表委員会に参加する子供以外は、体育館のフロアーに座って全校児童が参加あるいは体験できた代表委員会になりました。「縦割りイベントパート2を決めよう」という議題で、たてわり班で遊ぶ内容を話し合いました。提案理由の中には、たてわり班で「助け合う遊び」や「たてわり班のよさが生かせる遊び」という言葉があり、その提案理由を意識しながら意見を出し合っていました。「『まちがいさがし』がいいと思います。ずっと皆が参加できるし、低学年でもずっと参加できるからです。」「『の』の字探しリレーがいいと思います。ルールが簡単だし、皆が楽しむことができるからです。」「まちがい探しもなぞ解きも、助け合う場面があるけど、まちがい探しの方が、低学年から参加しやすいと思います。」など、提案理由を意識しながら活発な意見を述べていました。



担当の大山先生も「全校のみんなが、『たてわり班遊び』のために話し合い、合意形成したことを実行することで、学校生活がより『わくわく』していくと思います。」と述べています、このように、子供たちの活躍と子供たちの創造力によって、学校文化は創られていくのです。

帯西スタンプでやる気アップ!?

私たちが何かをしたい、何かをしようと思うときの「やる気」の元を、心理学では「動機づけ」と言います。それには、お金や物などの「ごほうび目当て」であったり、「罰を受けないように」といった気持ちが元になったりしている「外発的動機づけ」と、もっと知りたい、楽しい、など、自分の気持ちを満足させるために自主的にがんばろうと思う「内発的動機づけ」の2つの種類があります。この内発的動機付けに繋ぐために、学校では昔から、子供たちが目標などを達成できたらシールやスタンプを与えるという場面があります。これによって、子供たちの意識が「認められること」に徐々に移行し、それを繰り返すうちに、自分で達成感を味わうことができるようになるからです。そこで、帯西でも子供たちに馴染み深い帯西レンジャーの評価スタンプを作り、子供たちの頑張りを認めるように工夫しています。帯西スタンプを見られましたら、子供たちの頑張りに声掛けをお願いします。

